

きいんぐみだより



2024.2 尚徳福祉会坂戸保育園

まだまだ寒い日は続きますが、子どもたちはひんやりとした空気を肌で感じたり、吐く息の白さを楽しんだりと季節を味わいながら過ごしています。そして子どもたちの元気な声が園内を温めてくれているかのようにも感じます。今月もこの季節だからこそこの遊びを見つけ、楽しめたらと思います。



☆節分製作☆

鬼のお面を作りました。新聞紙をコップの形に折り、表面をお花紙で装飾しました。赤や黄色、緑、水色、紫色のお花紙をちぎり糊で貼り付けました。花紙は向きによってきれいにちぎれるのとそうでないのがあり、「上手くちぎれない」と言う子に「反対向きにしてみたら」と声を掛けると「出来た」と向きによって切れ方の違いを発見しました。眼の色、鼻、牙、髪の毛の色は子どもたちが好きな色を選んでもらいました。牙は、上向き下向きどちらがいいか迷う子どもの姿があり、どちらでもいいことを伝え、それぞれが思うように貼っていました。髪の毛の毛糸は糊で付けるのに苦戦していましたが、2色か3色の毛糸を組み合わせるとカラフルな髪色になり子どもたちも「かわいい」と嬉しそうでした。



工作楽しい！

トイレットペーパーの芯にはさみで切りこみを入れてタコの形を作り友だちのタコと相撲で勝負や、ストローを適当な長さに切ったものを毛糸に通してネックレスを作りました。タコ相撲は相手のタコを先に倒そうと手に力が入り、空き箱もすぐによれよれに…。勝負はとても盛り上がっています。ネックレスは、毛糸がほつれて苦戦する姿があったので、毛先にセロハンテープを付けるとスムーズに通すことが出来ました。セロハンテープも取れやすく、取れたら「自分で貼る」と諦めずに集中していました。出来上がると、自分の首元に当てておしゃれを楽しんでいました。

ルールのある遊び

最近、フルーツバスケットから少し発展させて“色々バスケット”を楽しんでいます。フルーツバスケットでは、自分の担当のフルーツの名前を呼ばれた時と、「フルーツバスケット」と言われた時に移動するルールでしたが、色々バスケットは、自分の洋服に入っている色が合った時と「色々バスケット」と言われた時に移動する遊びです。初めは、言われた色をじっと探していましたが、慣れてくると見つけて素早く移動しています。わざと座らないようにすると面白くなることも少しずつ分かってきた様子で、ルールを理解して楽しむ姿が見られています。

☆なかよし遠足について☆

懇談会で少しお話させていただきました遠足の持ち物連絡になります。お弁当・水筒・レジャーシートをリュックに入れてください。雨天の場合もお弁当のご用意をお願いします。

分からないことがありましたら担任に声をかけてください。(日時は後日お知らせします。)